

ITパスポート公開セミナー



配布資料- p1

スキルアップ

共通キャリア・フレームワーク		試験名称
レベル4	高度な知識・技能	高度試験 (9つの専門区分)
レベル3	応用的知識・技能	応用情報技術者試験
レベル2	基本的知識・技能	基本情報技術者試験
レベル1	職業人に共通に求められる基礎知識	ITパスポート試験

● ITパスポート試験概要

試験の位置づけ	経済産業省が実施する「情報処理技術者試験」の一区分であり、職業人として誰もが備えておくべき、情報技術に関する基礎的な知識を測る国家試験である。
試験時間	9:30～12:15 165分 (2時間45分)
出題形式	多肢選択式(すべて四肢択一) マークシート方式 (1)小問形式(1問中1設問) (2)中問形式(1問の中に4つの設問がある問題) 1つの状況設定に対し、複数の視点から知識・理解を問う
出題数	100問 全問解答(選択問題は無し) (1)小問形式: 88問 (2)中問形式: 12問 (4設問×3問)
	3つの分野から出題・・・【出題数】 分野別出題数 ● ストラテジ(戦略)系・・・【35問】 ● マネジメント(管理)系・・・【25問】 ● テクノロジ(技術)系・・・【40問】
合格基準	次の(1)、(2)の両方を満たした場合、合格とする。 (1)総合得点: 1000点満点中600点以上(60問以上) (2)分野別得点: 3つの分野ごとに満点の30%以上 分野別合格基準正解数 ● ストラテジ系: 35問中11問以上 ● マネジメント系: 25問中8問以上 ● テクノロジ系: 40問中12問以上

合格証書には、総合得点および分野別得点が記載されます。

合格率は受験者全体の50%程度。

試験は4月と10月の第3日曜日に実施(次回: H23年4月17日)

● 出題範囲 (3分野 9つの大分類 23の中分類から構成される)

分野	大分類	中分類	主な出題ポイント
ストラテジ系	企業と法務	1 企業活動	(1) ストラテジ(戦略)系 【出題率35%】 ● 企業が情報化を行うのは、業務改善のためです。よって、まずは企業活動や担当業務について、理解していなければなりません。そこで、企業活動や業務に関する知識が問われます。 ● 業務改善を行うには、現状を把握・分析し、解決策を考えなければなりません。よって、データ分析や問題解決のための手法に関する知識が問われます。 ● 企業が守るべき規範や、情報システムを活用する上で守るべき法律に関する知識が問われます。
		2 法務	
	経営戦略	3 経営戦略マネジメント	
		4 技術戦略マネジメント	
		5 ビジネスインダストリ	
	システム戦略	6 システム戦略	
		7 システム企画	
マネジメント系	開発支援	8 システム開発技術	(2) マネジメント(管理)系 【出題率25%】 ● システム開発と運用の支援を行うために、システム開発の流れや見積りの技法、運用に関する知識が問われます。 ● システム開発は「プロジェクト」であり、「プロジェクト」には「マネジメント」が必要です。プロジェクトマネジメントの目的やプロセスの流れなどが問われます。 ● ITサービスの品質を高めるための「サービスマネジメント」について、理解しているかが問われます。
		9 ソフトウェア開発管理技術	
	プロジェクトマネジメント	10 プロジェクトマネジメント	
	サービスマネジメント	11 サービスマネジメント	
テクノロジ系	基礎理論	12 システム監査	(3) テクノロジ(技術)系 【出題率40%】 ● 基礎的な用語・概念などの知識や、論理的な思考能力が問われます。 ● 利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータのハードウェアやソフトウェア、システム構成要素についての基礎知識が問われます。 ● マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、IT社会を生きる上で欠かせない技術要素に関する知識が問われます。 ● 身近な情報システムの安全な利用を行うために必要な基礎知識が問われます。 ● 技術的に専門性の高い問題は出題されません。
		13 基礎理論	
	コンピュータシステム	14 アルゴリズムとプログラミング	
		15 コンピュータ構成要素	
		16 システム構成要素	
		17 ソフトウェア	
		18 ハードウェア	
	技術要素	19 ヒューマンインタフェース	
		20 マルチメディア	
		21 データベース	
		22 ネットワーク	
		23 セキュリティ	

出題範囲は広いので、計画的な学習が必要です。

分野ごとに合格基準正解数が定められていますので、すべての分野をまんべんなく学習しておきましょう。

● 本試験問題にチャレンジ！

♪ 各分野の代表的な問題を解いてみましょう。



(1) ストラテジ系

問 1...平成 22 年秋期本試験問題 問 11...〔用語選択〕

本部が契約した加盟店に対して、営業権や商標の使用権、出店や運営のノウハウを提供し、その見返りとして加盟店から、ロイヤルティを徴収するという関係を有した小売形態はどれか。

- ア アウトレットストア イ アンテナショップ
ウ フランチャイズチェーン エ ボランタリチェーン

問 2...平成 22 年秋期本試験問題 問 12...〔説明選択〕

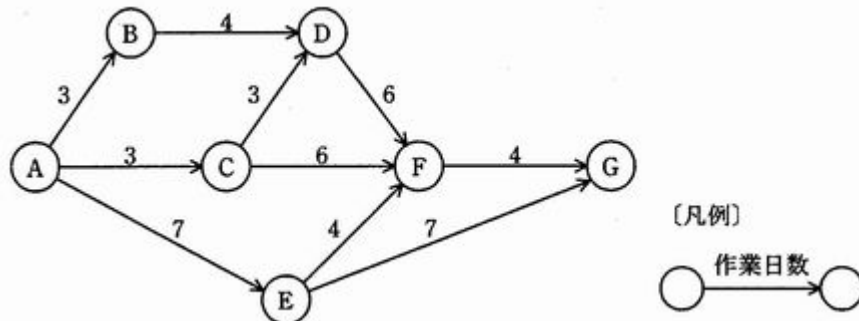
意匠法における意匠の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア 自然法則を利用した技術的思想に基づいて発明したもの
イ 思想又は感情を文章や音、絵などで創造的に表現したもの
ウ 文字や図形、記号、立体的形状などで表した商品のマーク
エ 物の形状や模様、色彩などで表した商品のデザイン

(2) マネジメント系

問 3...平成 22 年春期本試験問題 問 35...〔事例〕

図のアローダイアグラムで、A から G に至る全体の作業日数に影響を与えないことを条件に、C→F の作業の遅れは最大何日間まで許容できるか。



- ア 1 イ 2 ウ 3 エ 4

問 4...平成 22 年春期本試験問題 問 31...〔計算〕

A さんと 10 日、B さんと 15 日かかるプログラム開発の作業がある。これを A さんと B さんが一緒に作業した場合、何日かかるか。ここで、2 人で作業を行った場合もそれぞれの作業効率は変わらないものとする。

- ア 5 イ 6 ウ 7.5 エ 12.5

(3) テクノロジ系

問 5...平成 22 年秋期本試験問題 問 53...〔判断力〕

情報セキュリティにおける“完全性”が損なわれる行為はどれか。

- ア DoS 攻撃
イ Web ページの改ざん
ウ サーバの各ポートへの順次アクセス
エ ネットワークを流れるデータの盗聴

問 6...平成 22 年秋期本試験問題 問 85...〔事例〕

図を描画で表す手法を考える。図 1 の場合、3×3 個の画素を左上から 1 行ずつ右方向へ 1 画素ずつ読み取り、黒なら B、白なら W と書くと、“BWBBBBBWB” (9 文字) となる。

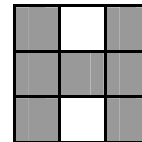


図 1

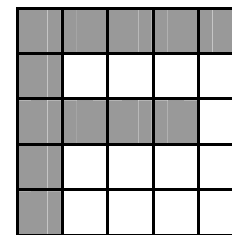


図 2

次に、B や W が n 文字連続する場合を “Bn”, “Wn” と表す (n は 2 以上の整数) と、図 1 は “BW B5WB” (6 文字) と表現でき、このときの圧縮率を $6 / 9 = 66.7\%$ であると定義する。図 2 の 5×5 の図形について同じ手法で表現すると、圧縮率は何%か。

- ア 48.0 イ 52.0 ウ 76.0 エ 88.0

●合格対策とスケジュールプラン（独学者を想定しています）

（１）学習に当たっての心得

少なくとも最低限のオフィスツール(ワープロソフト, 表計算ソフト, 電子メールソフト, Web ブラウザなど)は, あらかじめ使えるようにしておきましょう。

通勤・通学の電車の中など, 細切れの時間を有効に使うことを心がけましょう。

新聞の IT 関連の記事には, こまめに目を通しましょう。

ストラテジ系, マネジメント系, テクノロジ系でバランスよく得点できるよう, 苦手分野を克服するようにしましょう。

合格するまでのプロセスを十分に楽しみましょう。

(日々新しい知識が増え, 視野が広がっていくことを楽しみましょう!)

（２）初学者が用意すべき教材

- a. 試験対策テキスト(出題範囲全般の基礎知識が載っている受験参考書)
- b. 基本問題集(分野別に練習問題・予想問題が載っているもの)
- c. IT パスポート過去問題集(過去の本試験問題)
- d. 初級シスアド過去問題集(できれば, 追加したい教材です)

- TAC の IT パスポート講座にご参加いただく場合は, 教材 a, b, c は配布させていただきます。

（３）中間形式の問題（１００問中 １２問出題）の対策

- ・小問形式の問題 88 問のほかに, **中間形式の問題**が 3 問出題されます。

これは, 1 つの状況設定に対し, 複数の視点から知識・理解を問う問題で, 1 つの問題が 4 つの設問から構成されます。(4 設問 × 3 問 = 12 問)

- ・実際の業務を想定したケーススタディ型の問題であり, 知識に加えて文章理解力, 図表を読み取る力, 思考能力などが要求されます。ただし, 問題文はそれほど長文ではなく, 設問はすべて 4 択問題ですから, 恐れることはありません。

- ・問題集に記載の中間形式の予想問題や過去問題を解いて, 出題形式に慣れておきましょう。(本資料 p4 参照: **解答: 問 1 イ, 問 2 ウ, 問 3 ウ, 問 4 ウ**)

- ・日ごろからパソコン雑誌や, 新聞の IT 関連の記事を意識して読んだりすることを心がければ, 「IT 知識」と「文章理解力」の両方が一度に身につきますよ。

(♪このような心がけは, できるだけ早くから始めたほうが効果的です。)

（４）独学者のための学習手順及びスケジュールプラン（一例です）

4 か月前まで

試験対策テキスト(前述の教材 a)または基本問題集(教材 b)をさっと眺めて, 自身の得意な分野, 不得意な分野を把握しておく。

3 か月前・・・「試験の申込み」を行う <http://www.jitec.ipa.go.jp/>

得意分野については, まず基本問題集(教材 b)の問題を解いてみる。わからない内容や用語については試験対策テキスト(教材 a)で調べ, 問題を解きなおす。

苦手分野については, まず試験対策テキスト(教材 a)でじっくり学習し, その後基本問題集(教材 b)の問題を解いてみる。

2 か月前

IT パスポートの過去問題(教材 c)を解く。

覚えにくい用語については, テキストを丸暗記するのではなく, 用語辞典や Web など詳細を調べ, 周辺の知識なども一緒にノートにまとめておく。

苦手な問題, わかりにくい問題などはノートに書き写し, 解説, 関連知識なども一緒にノートにまとめておく。そして, このノートは常に持ち歩く。

1 か月前

3月20日(日)に TAC の公開模試を受験し, 予行演習 & 時間配分の研究を行う。

IT パスポートの過去問題(教材 c)を繰り返し解く。中間に慣れておく!!

10 日前～試験前日

初級シスアド過去問題集(教材 d)の**午前問題**をできるだけ解いてみる。

時間配分の練習をしておく。(100 問を 165 分以内で解いてみる。)

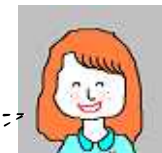
ノートの再確認を行う。模試問題の解き直しを行う。

学習期間には個人差もあると思います。独学で学習される方は, 上記をご参考に, ご自身の状況に合わせて, 学習スケジュールを立ててみてください。

♪いかがでしたか?

これを機会に, **平成 23 年 4 月 17 日(日曜日)**の「IT パスポート試験」にチャレンジしてみませんか?

♪ 私たちと一緒に, 試験勉強を楽しみましょう。



Mitsuya

● 中間形式のサンプル問題 (参考資料) 自己学習用

問題 業務データとその処理に関する次の記述を読んで、問 1～問 4 に答えよ。

F さんが入社した会社では、会員制で化粧品の通信販売を行っている。F さんは営業部に配属され、先輩の指導の下、販売実績のデータ分析を行うことになった。それぞれの商品には重複のない一意の商品名称が付けられ、分類が設定されている。データ分析に使用する過去 1 年の販売実績データ及び会員台帳は次のとおりである。

(販売実績データ)

販売日付	会員番号	商品名称	分類	単価	数量	金額
20071006	123001	乳液 A	基礎化粧品	3,000	1	3,000
20071007	100302	ルージュ C	口紅	2,000	2	4,000
20071008	110210	化粧水 B	基礎化粧品	1,500	1	1,500
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

(会員台帳)

会員番号	会員氏名	住所 1	住所 2	電話番号
100001	情報 太郎	東京都	港区北新橋	03-2846-XXXX
100002	中間 花子	埼玉県	さいたま市中央区	048-123-XXXX
100003	試験 宣太	千葉県	千葉県緑区	047-231-XXXX
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

問 1・・・(中分類 21 データベース)

F さんは、毎月の 1 か月間の商品別売上実績を表にまとめることにした。商品別の月間売上実績を算出するために、最低限必要な販売実績データの項目の組合せはどれか。

- ア 商品名称, 金額 イ 販売日付, 商品名称, 金額
ウ 販売日付, 商品名称, 分類, 金額 エ 販売日付, 商品名称, 分類, 単価, 金額

問 2・・・(中分類 3 経営戦略マネジメント)

F さんは、先月 1 か月間の商品別売上実績を表にまとめることにした。販売実績データを基に、商品別の月間売上実績を算出する手順として適切なものはどれか。

- ア (1) 商品名称を基に、データを整列する。
(2) 同一の商品名称の金額の合計を求める。
(3) 販売日付を基に、先月に販売のある商品のデータを抽出する。
- イ (1) 同一の商品名称の金額の合計を求める。
(2) 分類を基に、データを整列する。
(3) 販売日付を基に、先月に販売のある商品のデータを抽出する。

- ウ (1) 販売日付を基に、先月 1 か月のデータを抽出する。
(2) 商品名称を基に抽出したデータを整列する。
(3) 同一の商品名称の金額の合計を求める。

- エ (1) 販売日付を基に、先月 1 か月のデータを抽出する。
(2) 分類を基に、データを整列する。
(3) 同一の分類の単価の合計を求める。

問 3・・・(中分類 3 経営戦略マネジメント)

F さんは、商品別の月間売上の増加率を確認するために、先々月と先月の商品別の月間売上実績を比較することにした。増加率を計算するための式はどれか。

- ア 先月の売上実績 - 先々月の売上実績
イ (先月の売上実績 - 先々月の売上実績) / 2
ウ (先月の売上実績 - 先々月の売上実績) / 先々月の売上実績
エ (先月の売上実績 - 先々月の売上実績) / 先月の売上実績

問 4・・・(中分類 21 データベース)

F さんは、都道府県別の先月の売上実績を表にまとめることにした。会員の住所を基に、都道府県別の先月の売上実績を算出する手順として適切なものはどれか。

- ア (1) 会員番号をキーとして、販売実績データと会員台帳を結合する。
(2) 会員番号を基に、結合した情報を整列する。
(3) 同一の会員番号の金額の合計を求める
(4) 住所 1 を基に整列する。
(5) 同一の都道府県単位に、金額の合計を求める。
- イ (1) 会員番号をキーとして、販売実績データと会員台帳を結合する。
(2) 住所 1 を基に、結合した情報を整列する。
(3) 同一の都道府県単位に金額の合計を求める。
- ウ (1) 販売日付を基に、販売実績データから先月のデータを抽出する。
(2) 会員番号をキーとして、抽出した販売実績データと会員台帳を結合する。
(3) 住所 1 を基に、結合した情報を整列する。
(4) 同一の都道府県単位に金額の合計を求める。
- エ (1) 販売日付を基に、販売実績データから先月のデータを抽出する。
(2) 会員番号を基に、抽出した販売実績データを整列する。
(3) 同一の会員番号の金額の合計を求める。

